

第2回北海道BCP推進会議 意見交換要旨

- 会員企業に対し、震災の影響調査を実施。回答 458 社のうち 39.5%が被害を受けたと回答し、平均被害額は 450 万円。前日の台風やブラックアウトもあり、特に小売業が大きな被害を受けた。全道に 8 つの支部あるが、全支部が一斉に被害を受けたのは初めて。これを受け、災害対応マニュアルを作成したところであり、今後各支部に周知していく予定。
- 北海道コカ・コーラボトリングの「図表を中心に BCP を策定する」という話は非常に参考になった。長い文章では有事の際に効果を発揮しないだろう。当団体では、北海道商工会議所連合会と連携し、BCP 策定に関する研修事業を実施。その他、Web 動画による BCP 講座や、災害リスク軽減につながる共済制度の運用などに取り組んでいる。
- 今回の震災にあたり、多数の融資相談に対応。また、BCP に関連する設備導入等の融資制度も実施している。「地震は想定していたが、それに伴う停電は想定していなかった」という企業が多く、災害の想定の難しさを感じた。また、BCP を策定しても災害後にはそれを改めて見直す必要があることを実感している。
- 震災後、被災事業者からの経営相談のほか、「BCP 策定支援の専門家を紹介してほしい」という支援機関からの相談を数多く受けた。知識はあっても、BCP の策定支援に携わった専門家は多くはない。支援人材の育成の必要性を感じる。また、BCP 普及のためには、策定の必要性に加え、策定による成功事例も伝えていく必要がある。
- 当団体では北海道の事業を活用し、BCP 策定の専門家派遣を実施。今年度中に 30 件程度の派遣を行う見込み。また、安平町、厚真町、むかわ町の仮設店舗整備については、2 月完成を目指している。仮設店舗に入居して事業再建を図りたいとの声が多い。
- 震災後に、三井住友海上との共催により函館、釧路で BCP セミナーを開催。今後、札幌、十勝、苫小牧でも開催予定。小さな企業にどうやって災害リスク対策を浸透させるか考える必要がある。必要性が伝わっても対策に結びつかない、BCP を策定しても有効なものにならない等の課題も存在する。